

令和7年度 長野県病虫害防除研修会開催要領

～ 斑点米カメムシ類及び気象変動に対応した病虫害防除と侵入警戒を要する雑草 ～

1 趣 旨

近年、国内では水稻の斑点米カメムシ類である「イネカメムシ」による被害が拡大しており、本県への侵入が懸念される他、これまで発生のみられている病虫害でも、高温や豪雨等の気象変動により発生時期や発生量に変化が見られています。

また、特定外来生物である雑草が水路や水田に侵入し、その高い繁殖力などから大きな被害を与えている事例も見受けられます。

そこで、斑点米カメムシ類の発生生態や気象変動による病虫害の発生動向の変化、侵入警戒を要する雑草の特徴等について理解を深め、早期発見・早期防除による被害防止を図れるよう本研修会を開催します。

2 主 催

長野県農業試験場病虫害防除部

3 共 催

一般社団法人 長野県植物防疫協会

4 日 時

令和8年2月24日(火) (受付12:30、開会13:10)

5 開催場所

松本合同庁舎 講堂

〒399-0711 松本市大字島立1,020 電話：0263-47-7800(代)

6 日程及び内容

(1) 開 会 13:10

(2) あいさつ

(3) 研修事項(13:15～16:10)

① 演題 イネカメムシの発生生態及び斑点米カメムシ類主要種の変遷と防除方法について
(講演60分、質疑10分)

講師 農研機構植物防疫研究部門 松倉上級研究員(WEB参加)

-----休憩----- (15分)

② 演題 普通作物における病害の発生動向の変化と防除

(講演40分、質疑応答10分)

講師 農業試験場病虫害防除部 藤沢担当係長(講演10分程度)

講師 農業試験場環境部(講演30分程度)

③ 演題 侵入が警戒される強害雑草(ナガエツルノゲイトウ等)の特徴と防除

(講演30分、質疑応答10分)

講師 農業試験場作物部

(4) 関係機関からの情報提供(16:10～16:30)

(5) 閉 会(16:30)

7 参集範囲

農業生産者、病虫害防除員、農業協同組合、JA長野中央会、JA全農長野、農業共済組合、長野県農薬卸商業協同組合、長野県農薬販売業者協会、農薬会社、市町村、(一社)長野県植物防疫協会、県関係機関など